

マスター。 ウイスキーください

文・写真 吉村喜彦

コモンズ 定価 1700 円 + 税



ウイスキーは人間味 あの街の、あのマスターに会いにいこう きっと、やさしい時間が待っている

この地球上で、人間しか酒を飲む生きものはいない。ほんとは人間の心が酒を飲んでいる。

だからこそ、マスターの人間性が酒に映り込むのである。

マスターの話にはその土地のにおいがあり、空のいろがあり、水のかげ、風のそよぎがある。

「あのマスターに会うために、あのバーで、あのウイスキーを飲みたい」

そういう夢のような旅に出ようと思った。

(「はじめに」より)

大切なのは、ぶれずに誇りをもって生きること

この本に登場いただいた11人のマスターたちはおとなだけれど、ニューポット（蒸留したての透明な原酒）を思い出させるいびつさを、みんな今もどこかに残している。少年の純な心がある。反骨がある。そして、その「いびつ」が時を経ることで、ほどよく枯れて、ほのかに苦みをもった恬淡の味になっている。

そう。じつはマスター自身がウイスキーなのだ。

ぼくらに必要なのは、苦みを知った「ウイスキー的生き方」ではないか。老いるとは、皺に味のある、色っぽいオジオバアになること。個性のあるモルト・ウイスキーになることだろう。

「人は多数決で生きるんじゃない。アイラ・モルトの香りは決して多数派に支持されない。でも、強い味方がいる。それでいいじゃないか。大切なことは、いくら向かい風が強くても、ぶれずに誇りをもって生きることだよ」

ウイスキーは、そして、ぼくの敬愛するマスターたちは、そう教えてくれている。

（「あとがき」より）

あまた

数多ある類書とは異なり、新たな境地を拓くエッセイ カタログでもなく、蘊蓄でもなく、思いこみでもない 11人のマスターが語る「ウイスキー的」おとなの生き方

●ウイスキー銀河鉄道の夜	——	大阪「十三トリスバー」	江川 英 治
●一浴一杯、また一杯	——	松山「バー露口」	露 口 貴 雄
●花鳥風月、ウイスキー	——	東京「絵里香」	中 村 健 二
●オホーツク流水ロック	——	網走「バー・ジラス」	鈴 木 秀 幸
●石垣・風まかせ	——	石垣島「エレファントカフェ」	吉 竹 浩 樹
●雨の大阪アイリッシュ	——	大阪「ザ・テンプルバー」	上 野 一 男
●スタンド・バイ・ミー	——	大阪「堂島サンボア」	鍵 澤 秀 都
●そして、神戸ハイボール	——	神戸「サヴォイ北野坂」	木 村 義 久
●人生、ゴキゲンで行こう	——	仙台「モンド・ボンゴ」	河 野 隆 一 郎
●光の酒には、骨がある	——	仙台「ル・パール・カワゴエ」	川 越 正 人
●ウイスキーは寂しい	——	東京「バー武蔵」	武 蔵 昌 一

■出版概要

タイトル	『マスター。ウイスキーください——日本列島バーの旅』
著者	吉村喜彦
発売日	2011年4月25日
定価	1700円＋税
販売エリア	全国主要書店
体裁	四六判ソフトカバー
ページ数	224ページ
発行	コモンズ

■著者プロフィール

よしむらのぶひこ。1954年大阪生まれ。京都大学教育学部卒業。サントリー宣伝部勤務を経て作家に。著書に、小説『ビア・ボーイ』（新潮社、PHP文芸文庫）、『こぼん』（新潮社）、ノンフィクションでは『漁師になろうよ』『リキュール&スピリッツ通』（ともに小学館）、『食べる、飲む、聞く 沖縄・美味の島』（光文社新書）、『オキナワ海人日和』（創英社／三省堂書店）、『ヤポネシアちゃんぶるー』（アスペクト）など。

—————<取材のお申し込みやお問い合わせはこちらまで>—————

有限会社 コモンズ

〒161-0033 東京都新宿区下落合1-5-10-1002

TEL：03-5386-6972 FAX：03-5386-6945

編集担当：大江 正章（おおえ ただあき）

e-mail：ooe@commonsonline.co.jp